

2月 1日 ~ 15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
06/02/01 (水)	東京は当初円売りが先行したものの、ユーロ債償還に伴うとされるクロス買いから円は小じっかり。欧米は円キャリートレード再開の噂などもあり東京とは様相一変。ドル/円は一時118円台も。	・米大統領が一般教書演説(現地時間31日) ・米財務省がトータル480億ドルの四半期入札予定を発表 ・12月の米建設支出1.0%、1月の米ISM製造業景況指数54.8	・米大統領「世界はイランの核兵器保有を許してはならない」 ・イラン大統領「核エネルギーの獲得権利を諦めない」 ・渡辺財務官「G8、為替は主要議題とならず」	117.35	142.53	寄付
				117.06	142.03	安値
				118.18	142.75	高値
				118.02	142.41	終値
06/02/02 (木)	東京は欧米の流れを継ぎ加ス中心の円安止まらず。武藤発言も円の失望売りを誘った格好となった。欧米は結果ユーロ高。ECB理事会は予定通りながらECB総裁の強気発言などもありユーロが嗜好された。	・ECBが政策金利を据え置き ・米国のテロ警戒レベルが引き上げられる、との噂(のちにホワイトハウスが正式に否定)	・武藤日銀副総裁「現時点で解除条件を満たしたと判断するのは早い」 ・ECB総裁「インフレ期待の上昇リスクは引き続き残る」 ・米財務次官「IMFは為替相場に関して強い主導権を見せるべき」	117.98	142.35	寄付
				117.88	142.32	安値
				118.66	143.40	高値
				118.57	143.37	終値
06/02/03 (金)	東京は米雇用統計発表を前にした調整の動きもありドル小安い。またクロスでも円買いが入り小じっかり。欧米は米雇用統計悪化で一瞬ドルが売られるも、失業率の改善などもあったことでその後買い戻された。	・1月の米失業率4.7%、同非農業者雇用数19.3万人、同ISM非製造業景況指数56.8、同シカゴ大消費者信頼感指数91.2、12月の米製造業受注1.1%	・IMF専務理事「中国は為替政策の柔軟性を一段と増すことが可能」 ・米財務長官「米雇用市場はかなり堅調」	118.55	143.26	寄付
				118.33	142.73	安値
				119.40	143.40	高値
				118.93	143.01	終値
06/02/06 (月)	東京は海外勢からの利食い売りなどもあり円高の流れ。クロスでも円は買い進まれ、しっかり。欧米は米債入札絡みのオーダーなどもあってドルが堅調裡。ドル/円は東京と流れが一変した。	・東芝が米WH社を54億ドルで買収することで合意	・福井日銀総裁「量的緩和解除は徐々に正常化へ向かう一つの通過」 ・ECB総裁「ECBは大胆な構造改革が必要」 ・ダラス連銀総裁「米住宅市場を注視する必要がある」	118.87	142.98	寄付
				118.49	142.18	安値
				119.12	142.99	高値
				119.05	142.44	終値
06/02/07 (火)	東京は新規材料のないなか円高推移。119円台では輸出売りが厚く、ドルの上値は抑えられた。欧米で円は続伸。米著名情報社レポートの噂などから円キャリートレードの巻き戻しと相思動き優勢。	・1月の外貨準備高8516.66億ドル ・米著名情報社が「日銀は量的緩和の解除を3、4月の会合で行なう可能性がある」とのレポート送信の噂 ・12月の米消費者信用残高33.5億ドル	・米財務長官「コアインフレは引き続き低水準」 ・フィラデルフィア中銀総裁「ECB総裁の金利政策に見解に同意」	119.10	142.46	寄付
				117.61	141.05	安値
				119.18	142.52	高値
				117.95	141.29	終値
06/02/08 (水)	東京は前日からの流れで円高スタート。しかし流れは続かず。終盤に掛けては118円台へ押し戻される。欧米はグズに関する噂からドルが急伸。対円を中心に対ユーロなどでも堅調裡。	・豪州が金利の据え置きを発表 ・1月のマネーサプライ1.9% ・12月の独貿易黒字115億ユーロ ・ギリソバソバ氏が米系証券主催で講演「一段の金利上昇の必要性を指摘」との噂	・黒田ADB総裁「日本はデフレ、日銀が緩和政策を終了するのは尚早」 ・仏財務相「ユーロは適切な水準にある」 ・イッソグ ECB専務理事「経済成長見通しは楽観的」	117.69	141.11	寄付
				117.64	140.96	安値
				118.83	141.80	高値
				118.53	141.79	終値
06/02/09 (木)	東京は地政学リスクからドル売りが先行。しかし、その後は日銀の決定や福井発言が円失望売りを誘う。欧米は米債の入札好調でドル小じっかり。ただユーロはそれよりも強く、さながら独歩高の様相に。	・日銀が金融政策の現状維持決定 ・2月の日銀金融月報で景気判断据え置き ・BOEが金融政策の据え置き決定 ・米30年債の入札実施される	・一部報道「米上院で神経ガスの可能性、避難措置発動」(危険物なし) ・日銀総裁「量的緩和解除後、ゼロ金利でなくても緩和的措置を維持」 ・シカゴ連銀総裁「インフレは容認出来るレンジの上限」	118.51	141.77	寄付
				118.29	141.68	安値
				118.92	142.40	高値
				118.85	142.38	終値
06/02/10 (金)	東京はドルが買えない。機械受注が予想を大幅に上回ったこともあり、結果円が強含み。欧米は米貿易赤字が嫌気されたものの、翌週のFRB議長証言が漸進的になるとの見方から反発。	・12月の機械受注6.8% ・12月の米貿易赤字 656.8億ドルで史上最高、対中赤字 162.99億ドル、対日赤字 68.0億ドル	・小泉首相「量的緩和解除はデフレを脱却したか、そのうえで判断」 ・谷垣財務相「為替相場はよく注意して見ていきたい」 ・バルデモスECB副総裁「ECBはインフレを抑制するため迅速に行動」	118.78	142.45	寄付
				116.88	140.01	安値
				118.95	142.53	高値
				117.86	140.31	終値
06/02/13 (月)	東京は円安。米国債の償還などから円買いが進行するかと思いきや逆方向の動き。欧米はバーナンキ新FRB議長の証言を睨みつつ、シリアが外準ポート変更との観測もありユーロ小じっかり。	・12月の経常黒字1兆7484億円 ・CEA経済報告書「中国はさらなる人民元の柔軟化が必要である」	・福井日銀総裁「量的緩和解除の時期を冷静かつ的確に判断」 ・グリーンランド連銀総裁「昨年第4四半期成長は上方修正の可能性もある」	117.70	140.06	寄付
				117.51	139.78	安値
				118.26	140.59	高値
				117.77	140.11	終値
06/02/14 (火)	東京で円高進行。15日が期限とされる米債の償還などが材料視され円買いを後押ししていた。欧米は強い米小売売上高を受けてドル買いが先行。しかし続かず、徐々に値を崩す展開に。	・第4四半期独GDP1.0%、2月の独ZEW景気期待指数69.8 ・第4四半期ユーロ圏GDP速報値年率1.7% ・1月の米小売売上高2.3%、12月の米企業在庫0.7%	・中国外務省「中国は人民元改革に真剣」 ・ダラス連銀総裁「連銀はインフレを抑制するため必要な措置を取る」 ・ボートマン米通商代表「中国貿易は公平さに欠ける」	117.55	140.01	寄付
				117.12	139.38	安値
				117.73	140.01	高値
				117.40	139.88	終値
06/02/15 (水)	東京は117円半ばを挟んだレンジ相場。夜半にFRB議長証言を控えて売買手控えムード。欧米は対米証券投資の予想外の悪化で一瞬ドル急落。しかしバーナンキ発言を好感した買いに切り返し。	・1月の英失業率2.9%、失業者数2000人 ・12月の対米証券投資566億ドル、1月の米設備稼働率80.9%、同鉱工業生産 0.2%、2月のNY連銀製造業景況指数20.3	・中川政調会長「量的緩和解除は日銀が判断する問題」 ・バーナンキFRB議長「ある程度の金融引き締めが必要となる可能性」 ・グリーンソバソバ前議長の金融政策を受け継ぐ	117.65	140.16	寄付
				116.75	139.54	安値
				118.13	140.38	高値
				117.89	140.16	終値

* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで